pickup news

企業の知恵とマチをつくる

民間２社と協定締結

写真右：(前列左から)石橋氏と下道町長
写真左：(左から)田辺社長、高橋さん、下道町長

洞爺湖町と民間４団体は、町内の人手不足の解消などを目的に、スポットワーク仲介アプリを運営するタイミー（本社・東京都）と包括連携協定を締結しました。また、地域課題解決に民間の知見を活用するため、パナソニックＩＴＳ（本社・神奈川県）とも協定を締結しました。

タイミーと協定を結んだのは町のほか洞爺湖町商工会、とうや湖農業協同組合、いぶり噴火湾漁業協同組合、洞爺湖温泉観光協会。同社運営のアプリ「タイミー」は、利用者が働きたい時に合わせ、短時間のアルバイトを仲介します。今回の協定で町民や事業者向けにタイミーを活用しやすくするようになり、町内の人手不足の解消が期待されます。

役場で８月20日に行われた締結式では、同社執行役員スポットワーク研究所所長の石橋孝宜氏と下道町長、各団体の代表が出席しました。団体からは、人手不足が原因の窮状が次々と語られました。石橋氏は、６者による協定締結は同社初と話し「地域に眠っている労働力を起こし、人口流出を防ぎたい。洞爺湖町で成功事例をつくりたいです」と意気込みを語りました。

町とパナソニックＩＴＳが結んだ協定は、三大都市圏に所在する企業が地方自治体に社員を派遣し、地域課題の解決に当たる「地域活性化起業人制度」の推進を目的としています。同社室蘭開発室の高橋慧さんが洞爺湖町に派遣され、職員と共に地域公共交通の活性化などに取り組みます。

９月８日に役場で行われた締結式では、田辺孝由樹社長と高橋さん、下道町長、大西智洞爺湖町議会議長、板垣正人副議長が出席しました。

高橋さんは「パナソニックの社員として、町職員として若さと技術を武器に地域を活性化したいと思います」と抱負を述べました。

町での派遣期間は令和７年９月30日までで、月10日程度の登庁を予定しています。

ワンポイント手話

毎月、職員が今月の手話を紹介します。
第67回目は社会教育課小八木香菜子です。
■問合せ 健康福祉課福祉支援係
（☎ 76-4006）

「協力」

左手の親指を立てて右手の手のひらで後ろから少し押すような感じで２回ほど叩いてから、右手の甲側を手前に向けて２回ほど叩きます。